

むさし野

No.48

事務局 〒350-0822 川越市山田912-7 石井方
 電話・FAX 049-225-2466
 E-mail:ishii.0525@r8.dion.ne.jp
 ホームページ: <http://www.longview.jp/musashino/>

「法政むさし野会」を楽しむ ————— 会長 石井 満

新年度(平成26年)を迎えました。現在の会名「法政むさし野会」に「法政大学オレンジ校友会・埼玉県支部」から改名してからちょうど10年が経ちました。会報は本号が48号ですから記念すべき50号は来年のお正月号になります。月並みな表現ですが「光陰矢のごとし」です。

旧会名からすると会員在籍16年になります。随分いろいろな経験や勉強、幅広い見識を会から学びました。その中でも、大切な財産である友人知人が男女を問わず増えた事は人生に多彩な色を添えて下れたと感謝しております。

当会の会員の皆さんは本を沢山読んでいらっしゃる方が多く、話をしていると実に多才で思考が順序立てられていて話題豊富な会話が限りなく広がり1~2時間はあっという間に過ぎてしまいます。話題が豊富という事は語彙が豊富という事でも有ります。普段使わない言葉を使って話すという事は脳に良い刺激になります。

最近の会員との話題の一つとしては介護が有ります。人間の老いは避けては通れず、それも自分だけが老いるのではなく両親や伴侶、ただ老いるのではなく病気を伴う場合が有ります。会で何が出来るという訳では有りませんが、話を聞く事や話し相手にはなれます。最近この介護の事でケアマネージャーをされている会員からの寄稿で会報45号に掲載された<介護は一人で悩まず、一

人で背負い込まないこと>と有りました。97才の義母を介護している68歳の女性の知人にこの話をした所、義母と二人暮らしのこの女性は深く頷いて<私が倒れたら、この老婆を誰が面倒みるのかと思うとぞっとします。息抜きや楽しみは必要です>と真っ直ぐ顔を向けて返事をされたことは記憶に新しいことです。これからも老いや介護については取り上げ、会員の方々にも会報への寄稿をお願いしたいと思っております。

先日2月16日(日)の第26回勉強会「埼玉県の偉人・本多静六」終了後に会員の方から、<これいい本だから読んでみて>と正岡子規著『仰臥漫録』を渡されました。いい本でした。また図書館で借りた本会の会名の由来、国木田独歩著『武蔵野』も読みました。名著でした。先日、会員の方から送って頂いた400ページに及ぶ本多静六著『人生と財産』も少しずつ読んでいます。

定年後いろいろな事が苦痛から客観に変わった今、自分とは異なった道を歩いて来られた人達と交わり、出会の会話を楽しみ、本を耽読する事も、法政大学で学んだ基礎学力が有るから出来る事だと感謝しつつ、「法政むさし野会」を楽しんでいます。

最後になりましたが、今年度も是非会報への投稿・寄稿、そして会へのご参加を宜しく申し上げます。

(写真は会津大内宿にて)



定期総会のお知らせ (詳細は4ページをご覧ください)

2014 (平成26) 年度定期総会を下記の通り開催いたします。会員各位のご出席を頂きたくご案内いたします。

- ・日 時 2014年6月15日(日) 13時30分~17時00分
- ・場 所 武蔵浦和コミュニティーセンター 8階7号室室 (JR武蔵浦和駅東口=昨年と違います)

今年も総会において会員皆様の趣味や活動の成果を展覽します。陶芸、絵画、エッセイ、著書、写真、書、新聞に掲載されたご自分の記事や寄稿等々。展示ご希望の方は同封の葉書通信欄に、作品展名を書いてください。総会出欠の葉書は5月17日までに届くようお願いします。

■ 第1号議案 2013(平成25)年活動報告

1. 定期総会の開催

・定期総会：2013年6月2日(日)、於：浦和コミュニティーセンター(パルコ10階)

提出4議案(12年度活動報告、12年度決算及び会計監査報告、13年度活動方針案、13年度予算案)を原案通り可決・承認。出席者：22名

2. 役員会の開催

・第1回役員会：2013年6月2日(日)、於：浦和コミュニティーセンター

・第2回役員会(拡大)：13年11月9日(土)、於：熊谷市・妻沼聖天山「千代栞」

・第3回役員会：14年2月16日(日)、於：武蔵浦和コミュニティーセンター

3. 会報の発行

・会報「むさし野」第45号：2013年5月5日「定期総会開催告示他」

・会報「むさし野」第46号：2013年9月15日「定期総会報告、会員の声他」

・会報「むさし野」第47号：2014年1月15日「年頭所感、見学会報告他」

4. 研究発表会・見学会の開催

・第25回「秋の散策・利根大堰と妻沼聖天山」見学会(利根大堰～葛和田・赤岩の渡し～妻沼聖天山～昼食・懇談「千代栞」)：2013年11月9日(土)、参加者：10名

・第26回研究発表会：14年2月16日(日)、於：武蔵浦和コミュニティーセンター
[発表者] 大川成一会員『本多静六論』 参加者：12名

5. 講演会の開催

・定期総会記念講演会：2013年6月2日(日)、於：浦和コミュニティーセンター

演題：『外から見た日本』 講師：法政大学名誉教授・井坂義雄氏 参加者：22名

6. 法政大学校友連合会主催事業への参加

・第21回法政大学全国卒業生の集い『埼玉大会』：2013年9月7日(土)、於：パレスホテル大宮(さいたま市) 参加者15名(内、他団体での参加会員1名)

・14年オール法政新年を祝う会：2014年1月26日(日)、於：ホテルグランパシフィック LE DAIBA(東京都港区) 参加者8名(内、他団体での参加会員2名)

7. その他

・12年度通信教育部卒業生(埼玉県出身)への入会勧誘文書・会報等による入会勧誘活動の実施。

・法政大学関係先及び法政大学校友連合会地域支部・学部同窓会等への会報の送付。

・その他、会員名簿の作成・配布、ホームページ掲載及び新しい卒業生組織・一般社団法人「法政大学校友会」への移行(14年4月)報告等。

■ 第2号議案 2013(平成25)年度収支決算及び監査報告

1 収支決算書1

収入の部 自 2013(平成25)年4月1日 至 2014(平成26)年3月31日

科目	予算額	決算額	備考
繰越金	46,440	46,440	
会費	92,000	94,000	47名
会合参加費	40,000	48,900	勉強会等会合参加費
雑収入	1,560	10,173	寄付受取利息
合計	180,000	199,513	

支出の部 自 2013(平成25)年4月1日 至 2014(平成26)年3月31日

科目	予算額	決算額	備考
会場費	5,000	4,206	勉強会会場費代等
通信費	30,000	21,470	送料等
総会費	40,000	28,688	講師謝礼等
印刷費	40,000	38,400	会報印刷費
事務費	4,000	7,750	コピー代等
勉強会費	6,000	45,610	勉強会講師資料代等
予備費	55,000	0	
次年度繰越	0	53,389	
合計	180,000	199,513	

2 会計監査報告

法政むさし野会 会長 石井 満殿

法政むさし野会の平成25(2013)年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日)収支計算及び付属書類について、2014年4月4日に監査を行った結果、何れも会則に従い会計処理は適正に実施されている事を認めます。

会計監査 鹿野 幸作 (印)

会計監査 小林 薫 (印)

■ 第3号議案 2014(平成26)年度活動方針(案)

本会の目的を達成する為に、昨年度同様「会員による研究発表・歴史文化施設の見学会等」の開催、会報「むさし野」の発行を主たる活動に、その他、母校法政大学及び会員の協力の下、入会勧誘活動を展開して行きます。また、卒業生として法政大学校友会並びに学部同窓会・地域支部等との情報交換、それらの行う諸事業に参加・協力して参ります。

- 1 定期総会の開催 2014(平成26)年度 定期総会
- 2 役員会の開催 定例会を年3回
- 3 会報の発行 年3回(5月、9月、1月)発行(50号記念企画の実施)
- 4 研究発表会及び現地散策の開催 年2回(10月、2月)実施
- 5 講演会の開催 定期総会時 6月15日「宇宙への挑戦」阪本成一教授
- 6 法政大学校友会主催事業への参加
 - ・東京六大学野球観戦「神宮の集い」春・秋リーグ
 - ・第22回法政大学全国卒業生の集い 福井大会(11月21日~23日)
 - ・2015年「オール法政新年を祝う会」1月24日(土)ホテル・グランパシフィック パレロワイヤル
 - ・その他 箱根駅伝の応援等
- 7 新規会員の勧誘 法政大学卒業生・後援会連携室及び会員の紹介による勧誘活動の展開を図る
- 8 その他 ホームページの充実、会員名簿の配布・連絡通信体制の整備(メール、ファックス等による)

■ 第4号議案 2014(平成26)年度収支予算(案)

収入の部 自2014(平成26)年4月1日 至 2015(平成27)年3月31日

科目	本年度予算額	前年度決算額	備考
繰越金	53,389	46,440	
会費	96,000	94,000	48名
会合参加費	47,000	48,900	勉強会等会合参加費
雑収入	3,611	10,173	受取利息・寄付
合計	200,000	199,513	

支出の部 自2014(平成26)年4月1日 至 2015(平成27)年3月31日

科目	本年度予算額	前年度決算額	備考
会場費	5,000	4,206	会場費、茶菓代
通信費	30,000	21,470	送料等
総会費	40,000	28,688	講師謝礼・会場費
印刷費	40,000	38,400	会報代等
事務費	10,000	7,750	コピー代など
勉強会費	50,000	45,610	勉強会講師資料代等
予備費	25,000	53,389	繰越金含
合計	200,000	199,513	

■ 第5号議案 役員改選、顧問の指名

役員(案) 会長:石井満(川崎市) 副会長:筑井信明(朝霞市) 幹事:塩入基臣(朝霞市)、菅井肇(さいたま市)、矢田義徳(総務・朝霞市)、宇佐美善夫(朝霞市)、大川 成一(会計・草加市)、鳥海美智子(さいたま市)、榎原洋子(北本市)、宮川幸佳(志木市)、大野正雄(川口市) 会計監査:小林薫(上里町)、鹿野幸作(千葉市)
○顧問(案) 内田吉久(さいたま市)

「2014 オール法政新年を祝う会」

今年も「オール法政新年を祝う会」が1月26日(日)お台場のホテル・グランパシフィック LE DAIBAで開催され、約1000人の同窓生が一堂に会した。

我が「法政むさし野会」からは8名が参会して、新年恒例の大祝賀会が挙行された。桑野秀光校友連合会会長、増田壽男総長の祝辞、乾杯は同窓生の顔でもある上田清司埼玉県知事、また、4月から次期法政大学総長となられる田中優子教授も登壇され、テレビで拝見する時と同様にあの印象的な<赤い口紅>で「学生達はたった4年しか大学におりません。卒業してからの長い社会生活に置いて如何に法政人として過すかが大切です」等と新総長としての抱負を述べ壇上に花を添えられた。

この歯切れの良い挨拶に対して、満場からは祝福と期



待の拍手が送られた。中々都会に出る機会が少なくなると、一年に一度盛装して高級ホテルで食事を採り、応援団とチアガールの若さ溢れる躍動に目を見張り、親しい「法政むさし野会」の面々と歓談し又、初めてお会いしたばかりの同窓とスクラムを組んで校歌を斉唱する。法政大学卒業生であって良かったと思った新年であった。(幹事記)

総会（6月15日）の記念講演 『宇宙への挑戦』

宇宙航空開発機構（JAXA）宇宙科学研究所 阪本成一教授

小惑星探査機「はやぶさ」等の太陽系探査や国際宇宙ステーションでの実験の話等をロケットの打ち上げ映像等を混ぜながら、お話し頂きます。

定期総会スケジュール

- ・日 時 2014年6月15日（日）13時30分～17時00分（役員の方は13時までにご参集下さい）
- ・場 所 武蔵浦和コミュニティセンター8階7号室（JR武蔵浦和駅西口徒歩1分＝昨年と違います）
今年も総会において会員皆様の趣味や活動の成果を展覧します。ご出品ください。

第1部 総会 13:30～13:55

・議事 第1号議案 2013年度活動報告 第3号議案 2014年度活動方針 第5号議案 役員改選
第2号議案 2013年度収支決算及び監査報告 第4号議案 2014年度予算

第2部 講演会 14:00～15:30（写真撮影）

第3部 茶話会 15:40～17:00

本多静六論と意見・近況の発表会 2月の勉強会

第1部 勉強会

第26回勉強会は大川成一氏による「埼玉県の偉人・本多静六論」であった。本多静六は東京帝大名誉教授で日本初の林業博士であった。

慶応2年、河原井村（現久喜市菖蒲町）に生まれ9歳で父を亡くした。博士は著書の中で「貧乏は経験した方がよい。貧乏のエネルギーが人生の飛躍」と述べている。旧姓は柳原で東京農林学校（東京大学農学部林学科）を卒業し、本多家の私費留学を条件に養子となった。ミュンヘン大学に私費留学し、経済学博士となり、人生計画の実践者であり、蓄財の達人で有りながら、単なる資産家ではなく篤志家として昭和5年、埼玉県に5千ヘクタールの美林を寄付し、若手育成事業の資金とした。

本業では日比谷公園、明治神宮、各地の公園設計にかかわり「日本公園の父」と呼ばれる。静六は昭和27年1月29日、85才で死去したが、人生計画表として、20歳まで教練期、40歳までを勤儉貯蓄、65歳の勤労期、老後85歳奉仕期、それ以降楽老期を提唱し、実践している。

大川氏のご自身の人生と照らし合わせて、豊富な資料と共に楽しく、これからの人生にも為になるお話をして下さいました。（鳥海）

第2部 茶話会

参加者が12名と比較的少人数だった事も有り、自由



に近況や興味・趣味についてお話しいただいた。小生のメモを見ると「歌川広重の東海道53次は実は全部で55枚、宿場は53だけどこれに日本橋と京都が入る。江戸100景も実は119枚有る、500年後1000年後は東京もまたこの様な風景に帰ると思う。なぜなら我々人間の理想とする社会や風景であるから」「昔はオイルショック、今の我が身は老いるショック」「昔、村は助け合って存続していた、しかし人類の歴史は戦争の歴史である。人間は自分は好きだけど他人は嫌い、が基本的な考えだ」「ダンシャリを執行中、とにかく捨てる」「ご主人と仲良く暮らす方法は、お互いに邪魔をしない」読み聞かせ・自作自演「熱帯魚の美しい動き」出席者に感動を皆に与えた。「100名山に挑戦中、やっと60山位登頂、まだ達成には何年掛かるか分かりません」歌人・大西民子の歌碑が氷川神社の境内に在り幾つかの短歌をコピーで初回して紹介して下さいました。100分の時間があっという間に過ぎてしまった。皆さん本当に済々たる多士。（石井）

◆ことば◆

東大生の平均IQは120だそうで、外国語を縦横に駆使して話せるにはIQが120ぐらいが必要とされている。因みにアインシュタインは推測で150。IQが高い俳優さんは台詞を一度読んだだけで覚えるそうで頭のよしあし（記憶力）の問題である。小生の知人でIQが143の人がいたが、父は外交官で母は医師、本人は有名大学卒。IQは遺伝子の影響を受けるのだろうか。私は中学生の時にIQの検査を受けたことがあったが、やたらと図形の問題が多かった記憶がある。（鹿野）